

孤立化させるエッジの解消

- あぜみちウォークの形成
- 雁木デッキの整備
- 南北の結節点の形成
- まち土間の整備と並木道の形成
- パーク&ライド用駐車場・駐輪場を商業施設の整備
- 富山高校の校門の移設
- LRTの延伸
- コモン・リビング

地域性のある骨格の構成

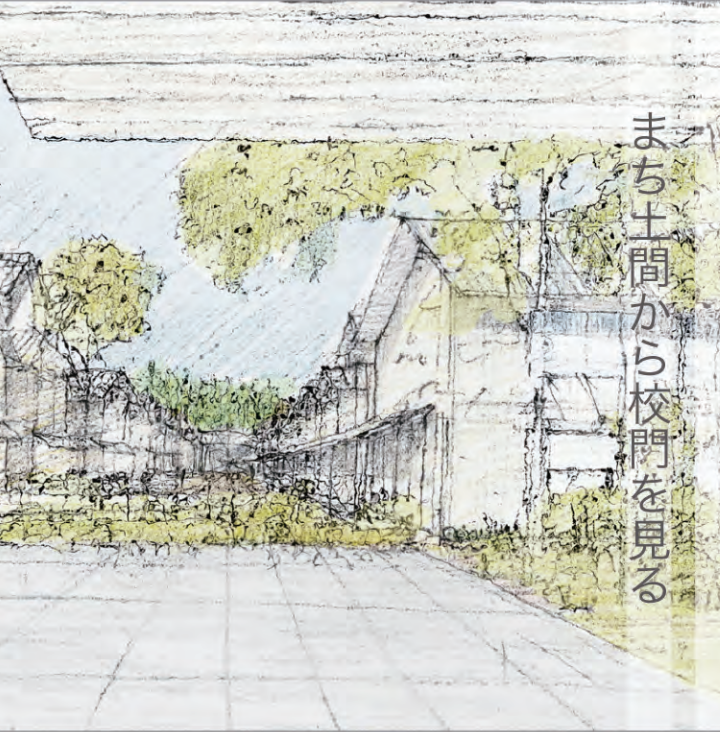
- 高齢者福祉施設の設置
- 定期借家権の設定
- 余剰空間での縁側農園の実施
- オープンスクールの実施
- 街土間（防災街区整備事業）パブリックキッチンの設置

地勢と周辺施設の交わり

- 駅地下道の整備
- 市民病院・福祉施設などへの歩行空間の連続
- 医療福祉と発酵食品の共同研究
- 発酵関連研究施設の誘致

漬け床によるイノベーション

- 農作物（かぶ、大根、白菜）の栽培
- 野菜市にとどまらず、漬け床での野菜の活用
- 糠や麹など、発酵食品の文化が根付く
- 野菜や発酵食品が相乗効果でイノベーションを起こす



防災街区整備事業

「漬け床」設置のメリット

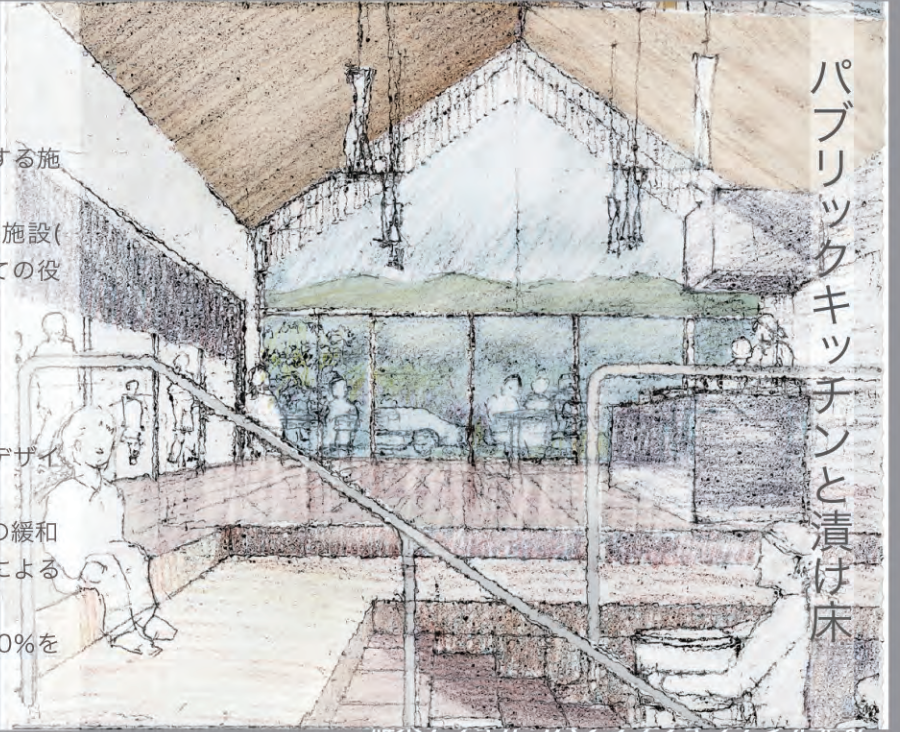
- 施設の半地下化 災害時の物資を補完する施設として利用する。
- 街土間と太郎丸ウォークは、広域避難施設（学校・校庭など）に向かう避難経路としての役割も兼ねる。
- 連帯的な防災地区として機能する。

○街土間沿いの商業施設 景観に関するデザインコードと高さ制限

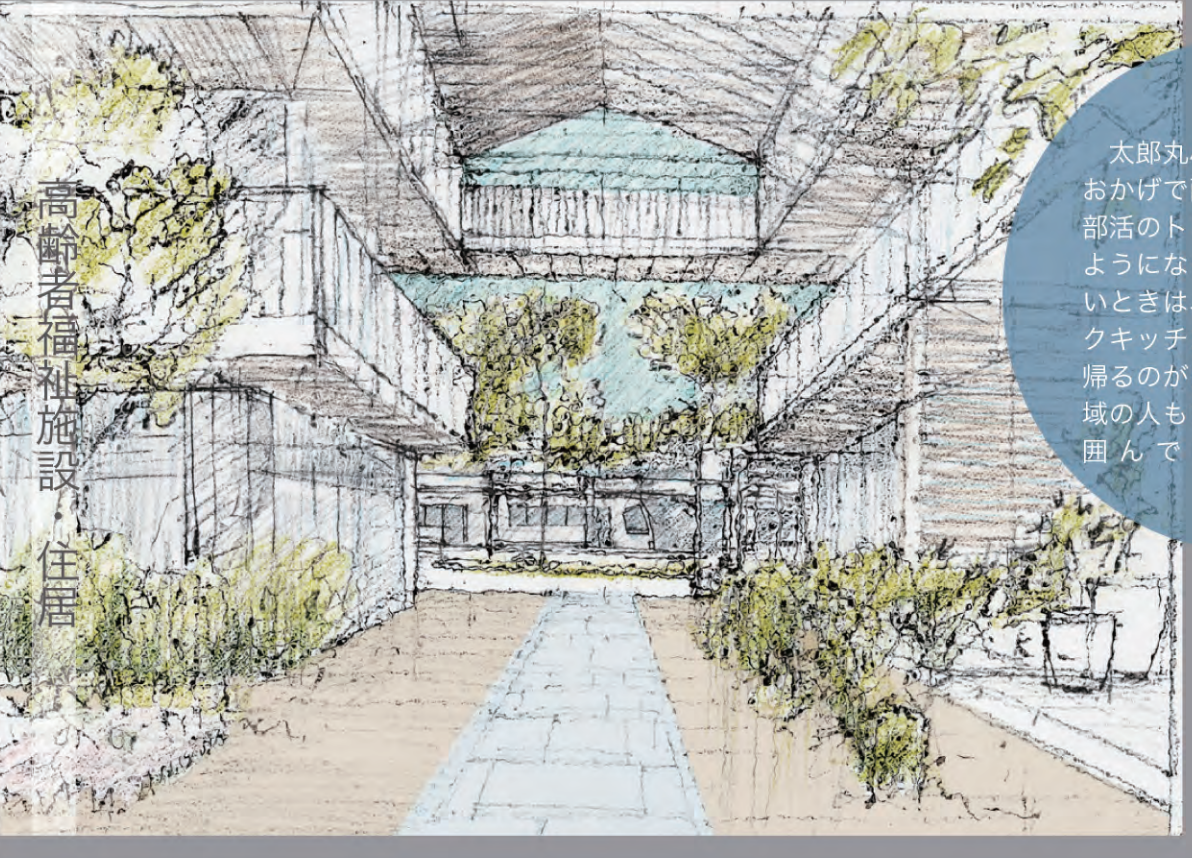
○集合住宅:高さに関する制限および面積の緩和

○地階に関する緩和:半地下を設けることによる面積緩和

○地階用途に関する緩和 半地下部分の50%を「漬け床」にすることによる設置の補助

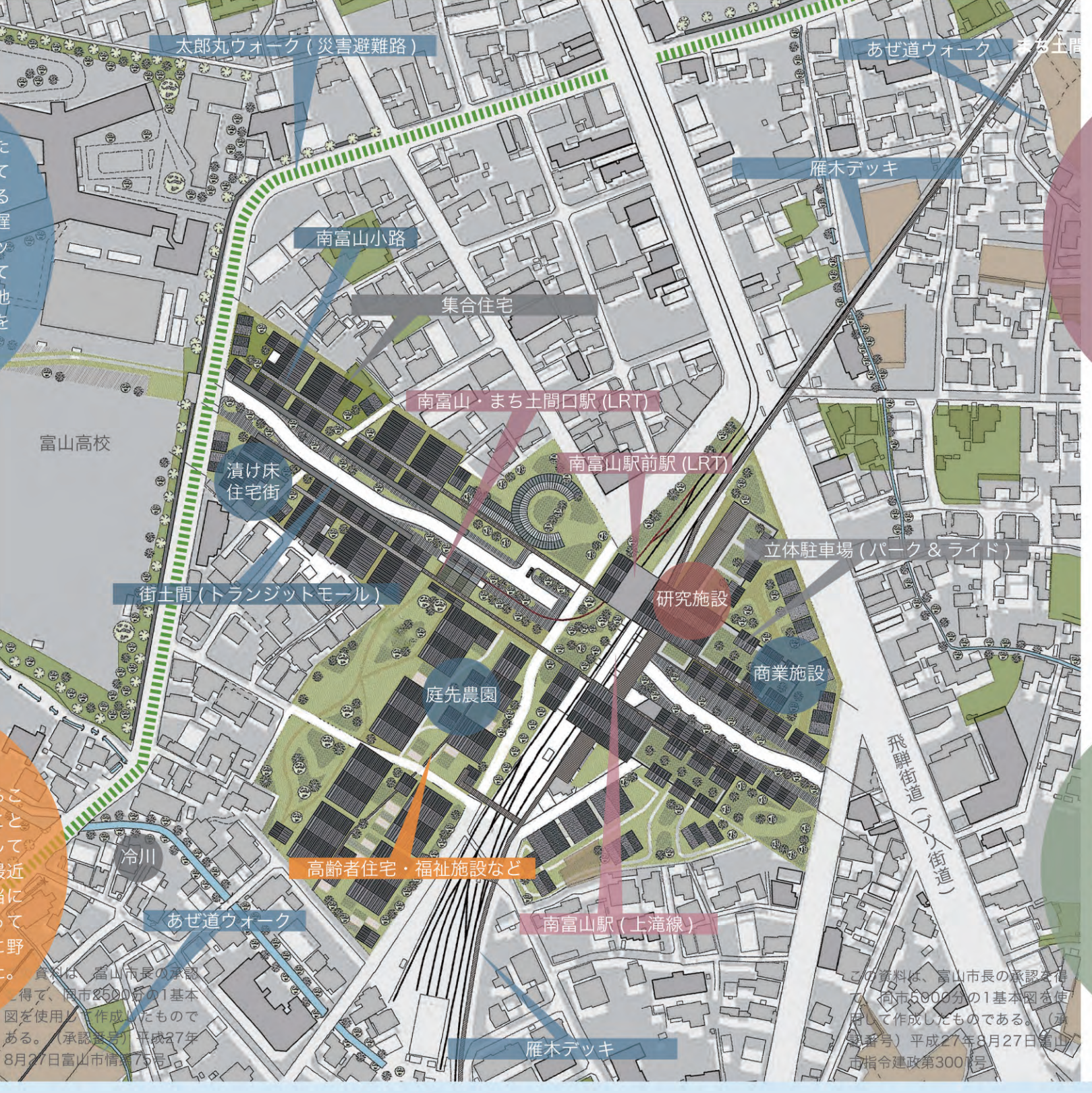


住み続けられるシティコア



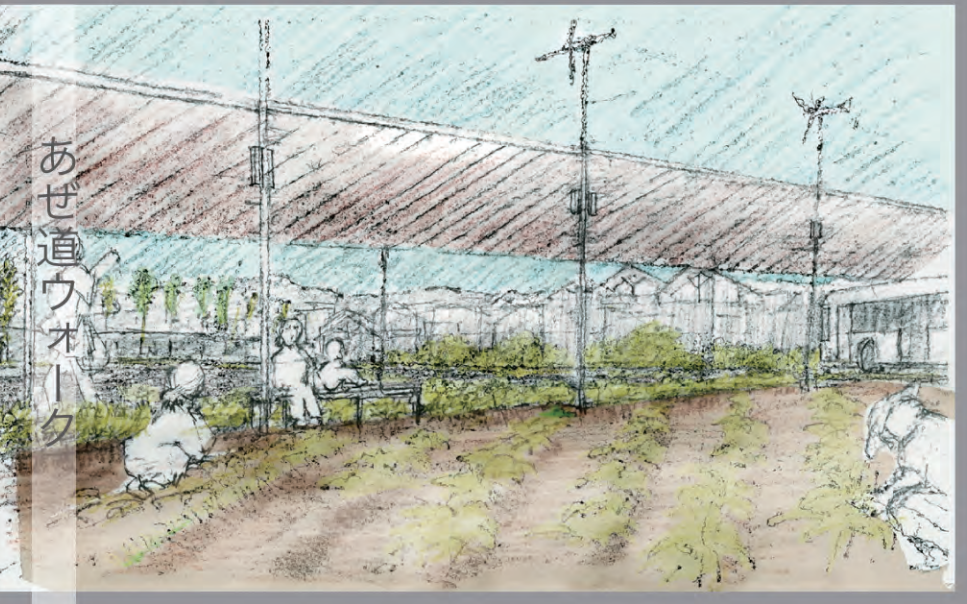
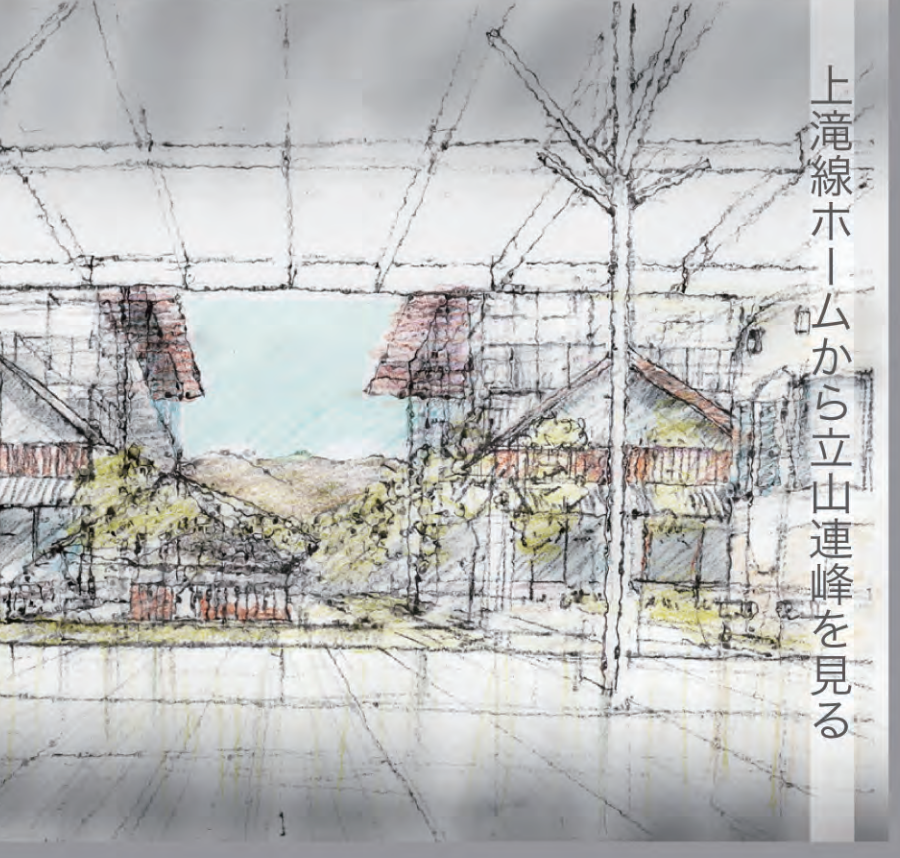
高校生

太郎丸小路に屋根がついたおかげで雨の日でも安心して部活のトレーニングが出来るようになった。親の帰りが遅いときは、友だちとパブリックキッチンで夕飯を済ませて帰るのが日課になりそう。地域の人もいてみんなで食卓を囲んでいる気分。



子育て夫婦(地域外の人)

これまでは仕事帰りの渋滞で子供の迎えが遅くなり寂しい思いをさせていた。しかしP&Rが出来ようになったし、何より駐車場に停めやすいから職場から快適に帰ってこれる。最近、娘がぬか漬けを食べたがるので帰るついでに漬け床でつけてから帰ろう。



地元の農家高齢者

野菜市と漬け床があるからこれまで通りに野菜を売ることが出来る。最近では近所の子どもがお弁当にうちの漬物を入れてもらっているらしい。なんだか更に野菜作りが楽しくなってきた。

高齢者

雁木デッキやまち土間が出来てから、変わりやすい天気を気にせず散歩をすることが出来る。地域の子ども達に声をかければ元気な声が返ってくるのはこのまちの自慢だ。夕方になるとまち土間にある囲炉裏スペースで仲間と軽く一杯も欠かせない。

